

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(9)-イ	残された戦後処理問題の解決	施策	③戦没者遺骨収集の取組強化
			施策の小項目名	○遺骨に関する情報収集
主な取組	遺骨収集情報センターの活用		対応する成果指標	沖縄戦没者未収骨柱数(推計)
施策の方向	・国に対し、戦没者遺骨収集情報センターの組織体制の強化を求めるとともに、同センターを拠点とした遺骨に関する情報収集と調査分析を通して、遺骨収集活動の取組強化を図ります。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
遺骨収集実績の約8割を占める民間団体や個人ボランティアによる遺骨収集活動を支援することにより、遺骨収集の加速化を図る	県	戦没者遺骨収集情報センターへの未収骨情報の一元化		
		市町村別未収骨情報調査数(累計)		
		2市町村	2市町村(4市町村)	2市町村(6市町村)
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部保護・援護課 【 098-866-2428 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名		戦没者遺骨収集事業費		予算事業名		戦没者遺骨収集事業費
主な財源	実施方法	R3年度	R4年度	R5年度		
		決算額	決算見込額	主な財源	実施方法	当初予算額
各省計上	委託	22,105	27,587	各省計上	委託	26,195
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>宜野湾市及び伊江村等において戦没者未収骨壕等調査を実施し、未収骨の状況を把握した。また、ボランティア団体へも必要に応じて情報提供を行った。</p>				<p>県内市町村において、戦没者未収骨壕等調査を実施し、未収骨の状況を把握する。また、ボランティア団体へも必要に応じて情報提供を行う。</p>		

活動指標名	市町村別未収骨情報調査数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	2市町村	1市町村	2市町村	2市町村	100.0%	順調	宜野湾市及び伊江村等において戦没者未収骨壕等調査を実施、資料調査、戦争体験者等から聞き取り調査を行い、未収骨の状況を把握した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

宜野湾市及び伊江村等において戦没者未収骨壕等調査を実施し、資料調査、戦争体験者や関係者からの聞き取り調査等を行った結果、2件の未収骨情報が得られた。引き続き当該遺骨に関する情報の精査及び関連情報の収集を進める。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 遺骨収集を行っている団体やボランティアや地域住民等からヒアリング等の機会を多く持つことで、更に詳細な情報（地域でまだ未収骨に関する情報を持っている人から証言を聞き出す等）を収集する。 過去の収骨状況及び厚生労働省が米国公文書館から入手した沖縄県内の未収骨に関する情報を調査分析し、新たな未収骨情報の収集に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民や戦争体験者等から聞き取り調査を実施し、未収骨情報を入手した。 厚生労働省が米国公文書館から入手した遺骨に関する情報の調査を実施したが、戦後75年以上経過していることから新たな未収骨情報は得られなかった。今後も引き続き調査を行っていく。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	・戦後78年以上が経過し、戦争体験者等の高齢化等により、戦没者遺骨の情報収集が難しくなっている。また、調査協力者が高齢のため、聞き取った収骨・未収骨情報が不正確であったりする場合がある。	② 連携の強化・改善	・遺骨収集を行っている団体や個人ボランティア、引退された方々、地域住民も含めた幅広い情報収集を行いつつ、詳しい状況を聴取するなど精度の高い未収骨情報の収集を行う。
		⑥ 変化に対応した取組の改善	・引き続き地域住民や市町村等から未収骨情報の収集を行い、過去の収骨状況や厚生労働省が米国公文書館から入手した情報を組み合わせるなどして、精度の高い未収骨情報の収集を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(9)-イ	残された戦後処理問題の解決	施策	③戦没者遺骨収集の取組強化
			施策の小項目名	○遺骨収集の加速化
主な取組	民間ボランティア団体等への活動支援		対応する成果指標	沖縄戦没者未収骨柱数(推計)
施策の方向	・遺骨収集活動の若い担い手への継承を支援し、遺骨収集の加速化に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
遺骨収集実績の約8割を占める民間団体や個人ボランティアによる遺骨収集活動を支援することにより、遺骨収集の加速化を図る	県	民間ボランティア団体等の活動支援		
		ボランティア支援件数(補助金交付件数)(累計)		
		4件	4件(8件)	4件(12件)
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部保護・援護課 【 098-866-2428 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)



2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 戦没者遺骨収集事業費				予算事業名 戦没者遺骨収集事業費		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	
各省計上	委託	1,174	2,090	各省計上	委託	2,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
遺骨収集実績の約8割を占めるボランティア団体に対し活動支援を行い、遺骨収集の加速化を図った。				遺骨収集実績の約8割を占める民間団体や個人ボランティアに対する活動支援を行うことにより、遺骨収集の加速化を図る。		

活動指標名	ボランティア支援件数(補助金交付件数)(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	1件	4件	5件	4件	100.0%	順調	遺骨収集を行うボランティア団体に対する活動支援(機材レンタル代や弁当代等を支援)を行うことにより、遺骨収集の加速化を図った。(支援団体数5団体)

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和2年度から新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により遺骨収集活動が縮小していたが、令和4年度は総額2,090千円、5団体への支援を実施した。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 遺骨収集を行っているボランティアや地域住民等からヒアリング等の機会を多く持つことで、更に詳細な情報を収集する。また、過去の収骨状況及び厚生労働省が米国公文書館から入手した沖縄県内の未収骨に関する情報を調査分析し、新たな未収骨情報の収集に努める。 これまで遺骨収集ボランティアとして活動されていた方々が高齢化のため引退されている。今後とも学生ボランティアなど若い世代へその取り組みが引き継がれるよう支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民や戦争体験者等から聞き取り調査を実施し、未収骨情報を入手した。 厚生労働省が米国公文書館から入手した遺骨に関する情報の調査を実施したが、戦後75年以上経過していることから新たな未収骨情報を得ることができなかった。今後も、引き続き情報収集を行う。 若い世代で遺骨収集を希望する方々に対し、ボランティア団体の情報提供などを行った。また、若い世代の参加する遺骨収集を行うボランティア団体に対し活動支援を行った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	<ul style="list-style-type: none"> 戦後78年以上が経過し、戦争体験者等の高齢化等により、戦没者遺骨の情報収集が難しくなっている。また、調査協力者が高齢のため、聞き取った収骨・未収骨情報が不正確であったりする場合がある。 	② 連携の強化・改善	<ul style="list-style-type: none"> 遺骨収集を行っている団体や個人ボランティア、引退された方々、地域住民も含めた幅広い情報収集を行いつつ、詳しい状況を聴取するなど精度の高い未収骨情報の収集を行う。
		⑥ 変化に対応した取組の改善	<ul style="list-style-type: none"> 遺骨収集ボランティアに対する活動支援を引き続き実施することで、当該ボランティアに参加する若い世代に遺骨収集が引き継がれていくよう取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(9)-イ 残された戦後処理問題の解決	施策	③戦没者遺骨収集の取組強化
		施策の小項目名	○遺骨収集活動の要請
主な取組	一元化された未収骨情報による遺骨収集の加速化	対応する成果指標	沖縄戦没者未収骨柱数(推計)
施策の方向	・大規模な戦争壕跡の遺骨収集など、遺骨所在の現地調査も含めて国による遺骨収集活動を求めます。		

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
可能な限り遺骨を収集するため、遺骨収集の更なる加速化を図り、一定期間を目途に集中的に取り組むよう国に要請する。	県	一元化された未収骨情報による遺骨収集の加速化		
		厚生労働省要請現場数(累計)		
		1件	1件(2件)	1件(3件)
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部保護・援護課 【 098-866-2428 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名		戦没者遺骨収集事業費		予算事業名		戦没者遺骨収集事業費
主な財源	実施方法	R3年度	R4年度	R5年度		
		決算額	決算見込額	主な財源	実施方法	
各省計上	委託	22,105	27,587	各省計上	委託	26,195
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄県では実施困難な現場での遺骨収集について、厚生労働省に4件要請を行った。				地域住民等への聞き取りや戦没者未収骨壕等調査等の結果に基づき、埋没壕などの沖縄県では実施困難な遺骨収集について厚生労働省に要請を行う。		

活動指標名	厚生労働省要請現場数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	1件	0件	4件	1件	100.0%	順調	宜野湾市及び伊江村等において戦没者未収骨壕等調査を実施し、資料調査、戦争体験者等から聞き取り調査を行い、厚生労働省に要請した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

要請に基づき、厚生労働省による現地調査が実施された。引き続き、戦没者未収骨壕等の未収骨情報調査の結果に基づき、確度の高い未収骨情報が得られた場合は、厚生労働省に遺骨収集の要請を行っていく。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 既に収骨が終了したと思われる箇所から新たな遺骨が発見されたり、また、不正確な収骨・未収骨情報が存在することから、遺骨収集情報センターと連携を図りながら情報収集に取り組んでいく。 未収骨情報を集中的に管理しボランティア団体等との連携を密にすることにより、埋没壕等沖縄県では実施困難な場所の情報があれば速やかに厚生労働省に遺骨収集を依頼し、遺骨収集の加速化を今後とも進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民や市町村等から情報収集を行うなど遺骨収集情報センターと連携を図りながら情報収集に取り組み、さらに収集した情報をボランティア団体等に情報センターを通して提供した。 遺骨に関する情報を調査した結果、未収骨情報が得られたことから、厚生労働省へ要請を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	・戦後78年以上が経過し、戦争体験者等の高齢化等により、戦没者遺骨の情報収集が難しくなっている。また、調査協力者が高齢のため、聞き取った収骨・未収骨情報が不正確であったりする場合がある。	② 連携の強化・改善	・遺骨収集を行っている団体や個人ボランティア、引退された方々、地域住民も含めた幅広い情報収集を行いつつ、詳しい状況を聴取するなど精度の高い未収骨情報の収集を行う。
		⑥ 変化に対応した取組の改善	・引き続き地域住民や市町村等から未収骨情報の収集を行い、過去の収骨状況や米国公文書館から入手した情報を組み合わせるなどして、精度の高い未収骨情報の収集を行う。